

【事業棚卸しを受けての事業見直し調書】

| | | | | | | | | |
|------------------------------|--|---|--------|-----|-------|---|----------|-------|
| 棚卸し年度 | H28 | 計画事業番号 | 000578 | 部名 | 教育委員会 | 課名 | 教育総務課 | |
| 計画事業事業名 | 情報教育環境整備事業 | | | | | | | |
| 構成予算事業名 (財務会計コード) | 小学校教育用コンピュータ等更新整備事業 | | | | | | (035275) | |
| | 中学校教育用コンピュータ等更新整備事業 | | | | | | (038210) | |
| | 小学校ICT環境整備事業 | | | | | | (038230) | |
| | 中学校ICT環境整備事業 | | | | | | (038231) | |
| | 小学校ICT環境整備事業(国の補正予算第1号分) | | | | | | (041856) | |
| 予算科目等 | 会計名 | 一般会計 | 款 | 教育費 | 項 | 小中学校費 | 目 | 学校管理費 |
| 棚卸し結果 又は 参考とした 改善意見 | <p>○ハード整備の成果だけでなく、それを活用した教育効果など、ソフト面も成果として考えるべき。</p> <p>○活用状況・効果を測るためにアンケート等を行い分析するべき。</p> <p>○仕様を決める際に技術職として採用されているわけではない市職員だけでなく、技術的な担保を確保するために、専門的な視点を加えたりしてはどうか。</p> <p>○リースの単価が高い。</p> <p>○一括リースなどを検討し、できる限りハードのコストを抑制されたい。</p> | | | | | | | |
| 担当課 としての考え | <p>・ソフト面での成果の指標の必要性は以前より検討していたが、教育総務課だけで、成果の指標を考えるには限界があるため、今後は学校と連携・協議して、適切な指標を採用できるよう努める。</p> <p>・活用状況・効果を測るため、アンケート等を行うことを検討する。</p> <p>・リースの単価の高さについては、入札による価格の決定が行われており、競争がされた結果として捉えている。</p> <p>・指摘のあった通り、外部の専門的な視点を加えることで、その内容が確かなものとして、担保されるように努めていきたい。</p> <p>・市役所本庁など一括リースによるコストの低減の提案をいただいたが、構成や設定などの違いがあるため、現実的に不可能であると考え。ただ、引続きコストの低減策については、検討をしていきたい。</p> | | | | | | | |
| 全体的な 見直し方針 | <p>・情報教育環境整備事業は、現状の計画どおり進めていくこととする。</p> <p>・ただし、今回の指摘を受けた事項については、来年度以降に改善できるように努めていく。</p> | | | | | | | |
| 見直し方針区分 | B 予算削減を伴う事業見直し | | | | | | | |
| 具体的 見直し 内容 | 年度 | 見直し内容(影響額の考え方も記載) | | | | 【歳出予算上】 見直しによる 影響額(千円) (見直し前予算比) | / | |
| | 平成29年度 | <p>・仕様書の作成などの際に、外部の専門的な視点を導入するために、設計書作成の外部委託等を実施する。</p> <p>・ハード整備だけではなく、ソフト面の成果も考えるために、成果指標設定を検討する。</p> <p>・活用状況・効果を測るためにアンケート等を実施する。</p> | | | | 4,320 | / | |

【事業棚卸しを受けての事業見直し調書】

| | | | | | | | | |
|------------------------------|---|-------------------|--------|-----|-------|---|----------|-------|
| 棚卸し年度 | H28 | 計画事業番号 | 000789 | 部名 | 教育委員会 | 課名 | 学校教育課 | |
| 計画事業事業名 | AET配置活用事業（AET配置活用事業） | | | | | | | |
| 構成予算事業名 (財務会計コード) | AET配置活用事業 | | | | | | (620144) | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| 予算科目等 | 会計名 | 一般会計 | 款 | 教育費 | 項 | 教育総務費 | 目 | 教育振興費 |
| 棚卸し結果 又は 参考とした 改善意見 | <p>○AETの人選に、市の意思・独創性を反映できるようにすべき。</p> <p>○AETの実働時間など、勤務実態の把握をしっかりと行い、コスト削減・教育効果の拡大に努めるべき。</p> <p>○AETの資質を測るための授業アンケートも評価軸に入れたほうが良いのではないか。</p> <p>○AETの配置効果の評価方法を工夫しつつ、事業成果を具体的に測るべき。</p> <p>○AETと担当教員との連携や、学校間連携についてもさらに工夫すべき。</p> | | | | | | | |
| 担当課 としての考え | <p>・事業のより効率的・効果的な実施については改善課題であると認識している。</p> <p>・H28年度事業者公募において、業務仕様の見直しにより改善策を検討し、平成29年度から実施する。</p> | | | | | | | |
| 全体的な 見直し方針 | <p>・事業効果の可視化のため、コミュニケーション能力の発達度検査等の実施など適切な評価スケールを設定する。</p> <p>・事業の更なる効果的・効率的な実施のため、検証方法(実績確認方法及び改善対策)を検討し、改善する。</p> <p>・このため、平成28年度に実施する英語指導助手配置事業者公募仕様に 福知山市の求めるAET像を規定 AET配置及び取組内容の詳細な報告及び改善提案 児童・生徒に対するAET配置効果の可視化手法の提案 を規定し、提案に基づく協議により、業務仕様として確定・実施する。</p> | | | | | | | |
| 見直し方針区分 | C 予算削減を伴わない事業見直し | | | | | | | |
| 具体的 見直し 内容 | 年度 | 見直し内容(影響額の考え方も記載) | | | | 【歳出予算上】 見直しによる 影響額(千円) (見直し前予算比) | / | |
| | 平成29年度 | | | | | - | / | |

【事業棚卸しを受けての事業見直し調書】

| | | | | | | | | |
|------------------------------|---|---|--------|-----|-------|---|----------|-------|
| 棚卸し年度 | H28 | 計画事業番号 | 000791 | 部名 | 教育委員会 | 課名 | 学校教育課 | |
| 計画事業事業名 | 文武向上プラン学校支援事業(文武向上プラン学校支援事業) | | | | | | | |
| 構成予算事業名 (財務会計コード) | 文武向上プラン学校支援事業 | | | | | | (620168) | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| 予算科目等 | 会計名 | 一般会計 | 款 | 教育費 | 項 | 教育総務費 | 目 | 教育振興費 |
| 棚卸し結果 又は 参考とした 改善意見 | <p>○事業の目的が不明確である。</p> <p>○この事業がなければ事業の目的としている「知・徳・体」の調和の取れた児童・生徒が育成できないのか。学校の不足経費の補てんが目的となっているように見える。</p> <p>○各校に裁量を持たせるといふ考えは評価できるが、学校管理費を含めてあり方を見直すべきではないか。</p> | | | | | | | |
| 担当課 としての考え | <p>・本事業は第6次行革に基づき、平成27年度予算編成において前年度から1,876千円の事業規模を縮減している。</p> <p>・このことを踏まえ、各学校・地域の教育課題に即応するための取組に対して、取組内容を審査した上で予算配当を行っているものであり、学校の自主的・自立的で特色ある効果的な運営にとって非常に重要な事業であるが、棚卸しに先立ち見直しをしたところである。</p> <p>・しかし、なお、学校配当予算と区分した加算型配当とすることにより、実施校それぞれの教育課題へのメリハリのついた有効な対応ができるものと考えているが、事業効果の測定・検証が曖昧であったことは否定できない。</p> <p>・このため、改善意見を踏まえ、本事業の趣旨は活かしつつ、学校課題の細分化と、各取組の目標設定、評価方法の見直し等制度を改善し、事業評価の明確化と説明責任の向上、より効果の高い課題解決の取組や特色ある学校運営の促進を図る。</p> | | | | | | | |
| 全体的な 見直し方針 | <p>・事業メニューを目的別に細分化し選択実施することにより、特色ある学校運営の取組であることを明確化する。</p> <p>・このことにより、計画策定時には取組ごとの到達目標を設定することができる。</p> <p>・また、コスト削減と効果拡大のため、近隣学校等において同種の課題解決手法の実施にあつては、合同実施や伝達研修へ取組手法の改善を図る。</p> <p>・これらの結果を踏まえ、指導主事等による検証委員会を定期開催し、計画策定や目標達成のための指導を行なうほか、達成度の第三者的評価を行う。</p> | | | | | | | |
| 見直し方針区分 | B 予算削減を伴う事業見直し | | | | | | | |
| 具体的見直し内容 | 年度 | 見直し内容(影響額の考え方も記載) | | | | 【歳出予算上】 見直しによる 影響額(千円) (見直し前予算比) | | / |
| | 平成29年度 | 見直し方針に基づき、事業のあり方を見直し、併せて見直した指標による評価を行う。 | | | | - | | / |

【事業棚卸しを受けての事業見直し調書】

| | | | | | | | | |
|------------------------------|---|---|--------|-----|-------|---|----------|-------|
| 棚卸し年度 | H28 | 計画事業番号 | 000797 | 部名 | 教育委員会 | 課名 | 学校教育課 | |
| 計画事業事業名 | 学校図書館機能充実事業 | | | | | | | |
| 構成予算事業名 (財務会計コード) | 学校図書館機能充実事業 | | | | | | (620144) | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| 予算科目等 | 会計名 | 一般会計 | 款 | 教育費 | 項 | 教育総務費 | 目 | 教育振興費 |
| 棚卸し結果 又は 参考とした 改善意見 | <p>○司書の配置は図書館活用のキーポイントだが、その存在を生かしているかどうかが問題である。</p> <p>○司書を置いていることの価値がどれだけ創出できているか疑問であり、分析を要する。</p> <p>○ひとり当たり冊数が、価値基準ではないはず。</p> <p>○現場に則して配置基準を設定して、効率的に活用されていることが伺えるが、単なる補助員化していないかが問題である。</p> <p>○学校司書が単なる補助員となっていないか、実状やあり方を検証すべきである。 → 司書教諭との連携をはじめ、学校司書の連絡会議なども含めたものとすべきではないか。</p> <p>○どんな本をどのように読ませたいのか、戦略を持たれたい。</p> | | | | | | | |
| 担当課 としての考え | <ul style="list-style-type: none"> ・配置した司書教諭により、多くの児童生徒が利用する図書の補修や収蔵する図書の紹介が可能になっている。 ・このような図書室整備により、児童生徒が図書館を利用しやすい環境をつくりだすことができる。 ・このほか、司書教諭を中学校ブロックごとに配置していることから、ブロック内における小小間・小中間における戦略眼をもたせた選書や読書活動の強化を図りたい。 | | | | | | | |
| 全体的な 見直し方針 | <ul style="list-style-type: none"> ・効率的・効果的な事業実施を検証するため、評価スケールを再検討し、事業目的「児童・生徒が本に親しみ、読書量の増加を目指す」を測る指標を設定した上で、配置した学校司書の活動改善課題を抽出する。 ・児童生徒の関心を引くレイアウト、紹介等を実施していく。 ・小小間・小中間において、つながりのある選書を行うため、司書教諭の資質向上や連携会議の開催を図る。 | | | | | | | |
| 見直し方針区分 | C 予算削減を伴わない事業見直し | | | | | | | |
| 具体的見直し内容 | 年度 | 見直し内容(影響額の考え方も記載) | | | | 【歳出予算上】 見直しによる 影響額(千円) (見直し前予算比) | / | |
| | 平成29年度 | 事業目的の達成のため、業務内容の確認を指導を行なう。併せて目的に沿った評価指標へ改善する。 | | | | - | / | |

【事業棚卸しを受けての事業見直し調書】

| | | | | | | | | |
|------------------------------|--|--------------------------|--------|-----|-------|---|----------|-------|
| 棚卸し年度 | H28 | 計画事業番号 | 000804 | 部名 | 教育委員会 | 課名 | 学校教育課 | |
| 計画事業事業名 | スクールサポーター配置事業 | | | | | | | |
| 構成予算事業名 (財務会計コード) | スクールサポーター配置事業 | | | | | | (620305) | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| 予算科目等 | 会計名 | 一般会計 | 款 | 教育費 | 項 | 教育総務費 | 目 | 教育振興費 |
| 棚卸し結果 又は 参考とした 改善意見 | <ul style="list-style-type: none"> ○合理的配慮は市の責務であり、事業見直しが困難な事業である。制度の穴が生んだ市町村単独事業といえる。 ○通常学級を希望する子どもの実現率を成果指標として捉えればよいのではないか。 ○学級運営が円滑に行われているかどうか、特に未配置クラスと同時に測ればよい。 ○必要な配置が行われているか、という検証は必要である。 ○予算及び人員確保に苦勞している中ででの運営状況であり、おそらく、これからさらに増えていこう状況を踏まえ、いかに持続可能な体制を構築するか、就学指導のあり方も含め検討する必要がある。 ○国及び府に対する予算確保についても考慮すべきである。 ○ハローワーク以外の補充対策も検討課題であり、当然、時間拘束や賃金水準からの検討が必要となる。 | | | | | | | |
| 担当課 としての考え | <ul style="list-style-type: none"> ・合理的配慮は公共の責務であり、支援を要する児童生徒の実態を把握し、適切な配置を行う。 ・平成26年1月に日本が批准した障害者権利条約では、他者との平等・多様性の尊重が求められている。 ・教育分野の重要課題として、一人一人に応じた指導や支援に加え、障害のある者となない者が可能な限り共に学ぶ仕組み(インクルーシブ教育システム)の構築がある。 ・平成28年4月から施行の「障害者差別解消法」に基づく合理的配慮が保護者から求められる。 ・児童生徒が十分な教育を受けられるよう、教育上必要な支援を講じるためにも可能な範囲での継続は必要である。 | | | | | | | |
| 全体的な 見直し方針 | <ul style="list-style-type: none"> ・支援を要する児童生徒に対して、適切なスクールサポーターの配置を図る。 ・このため、有効な財源の検討や必要な要望措置を検討、実施する。 ・学校の現況把握のため、適宜、訪問観察を行い、学校へのヒアリングにより支援の必要性を見極める。 ・1年間通じての配置ではなく、学期での見直しも視野に入れ効果的な活用を目指す。 | | | | | | | |
| 見直し方針区分 | C 予算削減を伴わない事業見直し | | | | | | | |
| 具体的見直し内容 | 年度 | 見直し内容(影響額の考え方も記載) | | | | 【歳出予算上】 見直しによる 影響額(千円) (見直し前予算比) | / | |
| | 平成29年度 | 適正配置の推進のため、適宜、学校訪問を実施する。 | | | | - | / | |

【事業棚卸しを受けての事業見直し調書】

| | | | | | | | | | |
|------------------------------|--------|---|--------|----|-------|----|---|---|---------|
| 棚卸し年度 | H28 | 計画事業番号 | 000068 | 部名 | 教育委員会 | 課名 | 生涯学習課 | | |
| 計画事業事業名 | | 公誠子ども教室事業 | | | | | | | |
| 構成予算事業名 (財務会計コード) | | 公誠子ども教室事業 | | | | | (61030201) | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| 予算科目等 | | 会計名 | 一般会計 | 款 | 教育費 | 項 | 社会教育費 | 目 | 社会教育総務費 |
| 棚卸し結果 又は 参考とした 改善意見 | | <p>○子どもを育む環境としては、すでに役目を終えているのではないか。</p> <p>○どれだけの利用が成果かは測りかねる。</p> <p>○地域人材15名の元で運営がなされていることは一定の価値がある。</p> <p>○最小限の費用と、地域の参画によって運営されていることは評価できる。</p> <p>○これだけ小規模になってくると、子どもの育ちへの影響が懸念される。</p> <p>このままでは、異年齢の交流もままならず、ごく小数が大人の中で育つということになる。</p> <p>→登録児童数が10人を切るH30年度を目途に、あり方と今後の方向性を改めて見直すべきである。</p> <p>⇒地域ではなく、子どもにとって最適な環境を整えることが市の責務であるはず。</p> | | | | | | | |
| 担当課 としての考え | | <p>○「公誠子ども教室事業」を実施した背景には、北陵中学校と公誠小学校の統廃合問題がある。常に保護者や地元関係者と情報交換はしており、地元の意向を踏まえて実施している事業であり、子どもたちの放課後等における安全で健やかな居場所、まなびの場づくりに効果がでている。今後も保護者や地元の意向を尊重しながら見直しも検討していく。</p> | | | | | | | |
| 全体的な 見直し方針 | | <p>○保護者をはじめとする地元の意向を尊重して、適切に見直し時期や方法を提案できるよう準備しておく。</p> | | | | | | | |
| 見直し方針区分 | | E 現行通り | | | | | | | |
| 具体的見直し内容 | 年度 | 見直し内容(影響額の考え方も記載) | | | | | 【歳出予算上】 見直しによる 影響額(千円) (見直し前予算比) | | / |
| | 平成29年度 | ・継続実施 | | | | | - | | / |

【事業棚卸しを受けての事業見直し調書】

| | | | | | | | | | |
|------------------------------|--------|--|--------|----|-------|----|---|---|---------|
| 棚卸し年度 | H28 | 計画事業番号 | 000083 | 部名 | 教育委員会 | 課名 | 生涯学習課 | | |
| 計画事業事業名 | | 放課後児童クラブ事業(放課後児童クラブ運営事業) | | | | | | | |
| 構成予算事業名 (財務会計コード) | | 放課後児童クラブ運営事業 | | | | | (43030401) | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| 予算科目等 | | 会計名 | 一般会計 | 款 | 教育費 | 項 | 社会教育費 | 目 | 社会教育総務費 |
| 棚卸し結果 又は 参考とした 改善意見 | | <ul style="list-style-type: none"> ○指導員の配置基準について、1人はボランティアとするなど工夫をして見直しをされたい。 ○児童数の今後の増減推計を明らかにした上で、指導員の採用・配置・研修計画を策定し、質の高い指導員の確保につとめるべき。 ○運営形態による費用比較は必要である。 ○施設計画においては、ニーズを考慮しつつ、既存の公共施設を利用した運営も考えるべき。 ○指導員への教育は大切である。 | | | | | | | |
| 担当課 としての考え | | <ul style="list-style-type: none"> ・現在ようやく指導員の質が整いつつある段階であり、ボランティアの協力については、今後導入や方法等を検討していきたい。 ・指導員の教育については、年間10回の指導員研修会を計画実施し、また、府主催の支援員研修会を受講させて資質向上を図っており、今後も継続していく必要があると考えている。 ・施設については、現在も可能な限り小学校の空き教室や、近隣の公共施設の共有使用を行っている。 | | | | | | | |
| 全体的な 見直し方針 | | <ul style="list-style-type: none"> ・指導員の質の向上については、今後も適切な研修を実施していく予定であり、安全な見守りができるように利用児童数に応じて適切な人数を配置していく予定である。 ・施設については、児童数の増加に伴い空き教室の確保ができなくなった場合や、小学校の統廃合の状況等、必要に応じて対応していく予定である。 ・施設整備も一定整い、小学6年生までの受入が完了し、事業運営も安定してきた状況であり、他市の事例等も参考にして運営のあり方や費用について検討をしていく予定である。 | | | | | | | |
| 見直し方針区分 | | C 予算削減を伴わない事業見直し | | | | | | | |
| 具体的見直し内容 | 年度 | 見直し内容(影響額の考え方も記載) | | | | | 【歳出予算上】 見直しによる 影響額(千円) (見直し前予算比) | | / |
| | 平成29年度 | <ul style="list-style-type: none"> ・利用児童の実数に応じて、指導員を配置、必要に応じて人員を増加する。 ・小学6年生までの通年受入が完成する平成29年度を含めた利用実績、及び必要経費などを経年比較分析し、平成30年以降の使用料の見直しを行う。 | | | | | - | | / |

【事業棚卸しを受けての事業見直し調書】

| | | | | | | | | | |
|------------------------------|--------|--|--------|----|-------|----|---|---|---------|
| 棚卸し年度 | H28 | 計画事業番号 | 000973 | 部名 | 教育委員会 | 課名 | 生涯学習課 | | |
| 計画事業事業名 | | 地域で支える「地域未来塾」開講事業 | | | | | | | |
| 構成予算事業名 (財務会計コード) | | 地域で支える「地域未来塾」開講事業 | | | | | (63021001) | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| 予算科目等 | | 会計名 | 一般会計 | 款 | 教育費 | 項 | 社会教育費 | 目 | 社会教育総務費 |
| 棚卸し結果 又は 参考とした 改善意見 | | <p>○貧困の連鎖を断ち切るためには不可欠な事業であり、むしろ、もっと加速すべきではないか。</p> <p>○活動指標、成果指標を工夫されたい。学習意欲の向上や習慣の定着、地域人材の関与などあらゆる面で評価を。</p> <p>○各校単位での実施により、コストは高くなっている。集中型とのメリット、デメリットの比較は、客観的に測ってみる必要がある。</p> <p>○H31に9校実施からの前倒しが想定され、準備を急ぐべきである。</p> <p>○学校の授業の延長では、早晚限界になることが予想され、 ①指導員、②地域のサポート、③講義方法および内容、④頻度について最適解を求めていくことが重要かつ急務である。⇒ 客観的な評価を行いつつ、早急な検討を！！</p> | | | | | | | |
| 担当課 としての考え | | <p>○市内全中学校での開講目標を1年前倒して平成30年度とする。そのため、平成29年度において、地域コーディネーターを1名から2名増員を検討する。その内1名は地域コーディネーターの統括員とし、市内全中学校での早期開講を目指した対応事務(学校、地域などとの調整、地域の人材確保など)を行う。</p> <p>○活動指標や成果指標の工夫について、学習意欲の向上や習慣の定着、地域人材の関与など数値化が困難な部分は、生徒や地域支援員などのアンケート調査により把握し分析を行うことで事業評価を行っていきたいと考える。</p> <p>○本事業の目的は、様々な理由で学習習慣が十分に身につけていない中学生への学習支援を実施することであり、本事業は、学校の授業の延長ではないと考えている。その学習支援にあたっては、地域住民の方の協力の下に行い、そのことにより、人や地域とのつながりなど社会で自立していく必要なことが得られ、福知山の将来を担う人材育成が図られると考えている。</p> <p>○本市の公共交通等、生徒の移動手段を考えると、集中型では学習支援を必要とする生徒の参加が限定されるため、各学区単位での実施が必要と考えている。</p> | | | | | | | |
| 全体的な 見直し方針 | | <ul style="list-style-type: none"> ・できる限り早期に市内全中学校で地域未来塾を開講する。 ・成果の検証については、客観的な指標を設定するよう各学校や関係者で十分に検討していく。 | | | | | | | |
| 見直し方針区分 | | D 予算増を伴う事業見直し | | | | | | | |
| 具体的見直し内容 | 年度 | 見直し内容(影響額の考え方も記載) | | | | | 【歳出予算上】 見直しによる 影響額(千円) (見直し前予算比) | | |
| | 平成29年度 | <ul style="list-style-type: none"> ・事業拡充(地域コーディネーターの増員 1名から3名、実施中学校の増 3校から4校) | | | | | 1,624 | | |

【事業棚卸しを受けての事業見直し調書】

| | | | | | | | | |
|------------------------------|---|--|--------|-----|-------|---|----------|------|
| 棚卸し年度 | H28 | 計画事業番号 | 000266 | 部名 | 教育委員会 | 課名 | 図書館 | |
| 計画事業事業名 | 読書活動支援事業 (佐藤八重子記念子ども読書活動支援事業) | | | | | | | |
| 構成予算事業名 (財務会計コード) | 佐藤八重子記念子ども読書活動支援事業 | | | | | | (630308) | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| 予算科目等 | 会計名 | 一般会計 | 款 | 教育費 | 項 | 社会教育費 | 目 | 図書館費 |
| 棚卸し結果 又は 参考とした 改善意見 | <p>○読み聞かせをはじめ、読書活動のきっかけとなる市民中心の取組を支える図書館の機能として必要なものである。</p> <p>○講演会、講座、ボランティア登録及び活動が、ねらいに対してどのような状況となっているか、客観的に測るべきである。</p> <p>○ボランティア中心で効率的に実施できているが、ボランティア講座が無償で良いかどうかは要検討。</p> <p>○ブックスタートに直接つながる、あるいは支援をするための事業として再構築すべきではないか。</p> <p>①すそを広げる講演会 ②キャッチアップする何らかの取組 ③ボランティア養成 ④ボランティアとしての活動 という、体系立てと整理が不可欠。そして、個別の取組にはベンチマークを設定し、それぞれの達成度や課題抽出を的確に行うべきである。</p> <p>○ボランティア登録数や講演会参加人数等の成果目標を適正に定める。</p> | | | | | | | |
| 担当課 としての考え | <p>・読書活動のきっかけとなる市民中心の取組を支える図書館の機能として必要な事業であるとの意見はありがたく、今後も継続していきたい。</p> <p>・講演会、講座、ボランティア登録及び活動が、狙いに対してどのような状況となっているかを客観的に測るべき、という意見、及び事業の再構築については、体系立て・整理をした上で見直したいと、考えている。ただ、ブックスタートに特化した事業として見直すのではなく、広く市民を対象とした読書支援事業として、今後も継続したい。</p> <p>・ボランティア登録数や講演会参加人数等の成果目標について適切な成果目標を設定する。</p> <p>・ボランティア講座の有償化については、読みきかせやボランティアの裾野を広げる意味でも、現状どおり無償で実施したいと考える。</p> | | | | | | | |
| 全体的な 見直し方針 | <p>・成果目標を「保護者による10か月児への絵本の読み聞かせ実施率」「図書館の児童書・絵本貸出冊数増加率」とする。</p> <p>・現在実施している講演会・講座等を整理し、必要性・効果を検証した上で、継続する。</p> | | | | | | | |
| 見直し方針区分 | C 予算削減を伴わない事業見直し | | | | | | | |
| 具体的見直し内容 | 年度 | 見直し内容(影響額の考え方も記載) | | | | 【歳出予算上】 見直しによる 影響額(千円) (見直し前予算比) | | / |
| | 平成29年度 | <p>・適正な成果目標の設定</p> <p>・講演会・講座等の必要性や効果を検証</p> | | | | | | - |

【事業棚卸しを受けての事業見直し調書】

| | | | | | | | | |
|------------------------------|---|-------------------|--------|-----|-------|---|----------|------|
| 棚卸し年度 | H28 | 計画事業番号 | 001008 | 部名 | 教育委員会 | 課名 | 図書館 | |
| 計画事業事業名 | 子どもの読書活動推進計画策定事業 (子どもの読書活動推進計画策定事業) | | | | | | | |
| 構成予算事業名 (財務会計コード) | 子どもの読書活動推進計画策定事業 | | | | | | (630307) | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| 予算科目等 | 会計名 | 一般会計 | 款 | 教育費 | 項 | 社会教育費 | 目 | 図書館費 |
| 棚卸し結果 又は 参考とした 改善意見 | ○計画の達成状況や、取り組みの客観的評価及び見直しのために、外部委員を入れた協議体を設定すべきではないか。 →庁内・連絡会議や図書館協議会との関係性、包含可能かどうか、総合的な検討をされたい。 | | | | | | | |
| 担当課 としての考え | ・取り組みの客観的な評価や見直しについては、図書館協議会で行うほか、各ボランティア団体との連携を今以上に深め、意見集約等も行っていきたい。状況によっては、図書館協議会委員をアドバイザーとして招致することも検討する。 | | | | | | | |
| 全体的な 見直し方針 | ・上記方針のもとに事業を遂行していきたいと考える。 | | | | | | | |
| 見直し方針区分 | E 現行通り | | | | | | | |
| 具体的見直し内容 | 年度 | 見直し内容(影響額の考え方も記載) | | | | 【歳出予算上】 見直しによる 影響額(千円) (見直し前予算比) | | / |
| | 平成29年度 | - | | | | - | | / |